

鈴鹿市民の  
**コミバスをよくする会**ニュース  
 (第14号・2014.9.9発行)

発行:(略称)コミバスをよくする会  
 事務局(仮):辻井良和 方  
 〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36  
 電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

**スーパー前アンケート活動**

**チャレンジハウス  
 磯山店(8/16)**

磯山のスーパー・チャレンジハウス前で、8月16日にアンケート活動を行いました。延べ7名の会員の参加で、65人の方に記入頂きました。

23号線沿いという条件もあって市外の方も多いですが、地元の高齢者の方にとっては、生活交通としてのコミバスへの期待は大きなものがあります。



チャレンジハウス磯山店でのアンケート活動

**お参りのあと、説明とアンケート**

南若松原永自治会へおじゃましました。

自治会長 三村さまのご厚意で8月16日、原永自治会のお盆のお参りの後の時間を頂き、簡単な説明とアンケートへのご協力を頂きました。

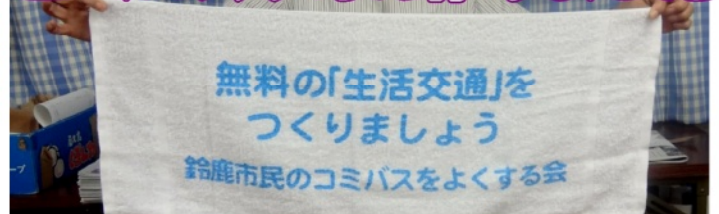
60人ほどの集まりで玉城町の元気バスDVDの上映(11分)のあと、短時間でしたがアンケートの説明と鈴鹿市での実施モデルの説明をして、30人ほどのアンケートを頂きました。貴重なお時間をさいて頂きありがとうございました。



南若松原永自治会の集まりで説明

**9月20日(土)9:30~16**  
**マックスバリュース鈴鹿店で**  
**アンケート活動を行います。**  
 都合のつく方はご協力下さい。  
 23号線「カーマ」横です。

**コミバスタオル作りました**



宣伝活動の一環として「名入りタオル」を作りました。このニュースと一緒にお届けします。タンスにしまわず毎日使って、「無料の生活交通」としてのコミバスを大いに宣伝しましょう。またアンケート用紙もお届けしますので、ご家族・友人・知人をお願いしてください。 [役員一同]

★8月中旬の新聞に、政府が来年度予算の中に、各地のコミバス(地域交通)の整備について、援助する費用を計上すると出ていました。

★高齢化社会の結果、車に乗らなくなる人達のために、地域交通の確保が求められることになり、支援の必要性を認めた事は良いことです。

★各地の老人会や自治会の集まりで、アンケートをお願いすると、いままでの鈴鹿市のコミバスを不便だという声が出てきます。走っていないところの不満はかなり大きいものがあります。

★政府の補助金が、各地の地域交通を自由に設計できることに役立つものであるのかどうか。市民の本当の意見は無料でどこへでも行けることです。から、補助に細かな条件を付けないことを望みます。





## 見学会 感想文

### 「玉城町元気バス」 研修について

毎度、役員の皆様方には、行事計画をされて、私達は参加をさせていただき感謝いたします。

今回の玉城町の元気バスについて説明をいただき、人口、面積という好条件の町だと思います。玉城町福祉協議会を中心に、町民の方の理解と協力により「介護予防につながる町づくり」を実施していることが、研修の結果よく分かりました。

特に鈴鹿市にミニバスに理解と実行する人づくりが、必要なように思います。高齢者の方の外出機会を増大させ、健康増進により、医療費軽減の効果を期待する時代だと思う。また地域全体で高齢者を見守りさらに防災、防犯情報の共有を図っていくシステムを、鈴鹿市も早急に研究してほしいと思います。

ミニバスの運営・運行に反映するために、今後、協力していきたいと思います。今回の参加して、「明るく、元気で、長生き」できる町づくりが出来ればよいと期待しています。  
[小川春二]



玉城町の元気バス

## 見学会 感想文

### 「元気バス」は地域の 交流と安全見守り役も

コミバスのアンケート活動で、記入をお願いしても、私自身がオンデマンド方式というものをいまいよく理解していないから、上手く説明できませんでした。

それで実際に運行している玉城町へ見学に行きたいと思っていました。5月13日、玉城町の元気バス見学会に近所の方と3人で参加しました。

社会福祉協議会の事務長さんからスライドを使って丁寧に説明をうけて、玉城町の「元気バス」は交通の手段だけではなく、地域の交流と、安全見守り、介護予防などに繋がっていることがよくわかりました。バスは無料ということで運営費は要りますが介護費用は軽減されたそうです。

オンデマンドとは《要求して注文する》まず会員登録をして、行きたい所をスマホや電話で予約をして自宅近くのバス停で待つ。現在157箇所のバス停があるそうです。玉城町は人口1万5千人の農村地帯です。鈴鹿市は人口も面積も違うし、農村地帯あり自動車産業やコンビニなど生活形態がいろいろなので工夫が必要でしょうが一日も早く実現出来ることを願っています。  
[前田みね子]



## コミバスは無料が当たり前

### 石薬師まりがの老人会30人の説明会

石薬師の鞠ガ野老人会会長・西山巳正会長さんので協力で、ここでもお参りの後の時間を頂き説明会をさせていただきました。

石薬師グリーン会館の和室で、老人会のみなさん30人ほどに、まず玉城町の元気バスDVDを上映し、その後鈴鹿市での実施のイメージについて詳しく説明をしました。

現在、鞠ガ野には鈴鹿市のコミバスも入っていないので、必要性は直ぐご理解頂きました。玉城町の元気バスにはとても興味を持って頂き、鈴鹿市でも一日も早く実現してほしいとの声が、ほとんど全員から発言されました。

アンケート記入に当たっても、熱心に質問される方が多く、入会用紙にご記入頂いた方もありました。「生きとる内に実現してほしい」との声を沢山の方から頂きました。

また説明の中で、有料では実現は難しい、無料の



まりがの老人会での懇談会

方が思うようにシステムが作れることも説明し、財源についても一般会計の0.5%でお釣りが来ると説明して納得されました。

### 1万人アンケート実現したい

コミバスの会では、当面1万人以上のアンケートを集めること、そのためにも、各地の自治会や老人クラブに働きかけて、説明会を開くことをお願いしています。みなさんの町の自治会長さん老人会長さんをお願いしてください。